

日本マクロエンジニアリング学会 第31回年次研究大会

主催：日本マクロエンジニアリング学会（JAMES）
後援：拓殖大学
NPO 法人マクロエンジニアリング研究機構
（RIMEP）

米国の政策金利が上げられたためかインカムゲインのない原油の価格が下がり「逆オイルショック」とまで呼ばれ、資源安はリサイクル業者にとっては逆風になります。他方、日本マクロエンジニアリング学会が登録している日本学術会議でも Trans-disciplinary を合い言葉として学術研究の実社会への応用が求められております。今回の研究大会では本学会の各研究会から発表・討論する予定です。

日 時

2016年2月20日(土) 14:00~18:00

場 所

拓殖大学 文京キャンパス C館603室 (最寄り駅:茗荷谷)

参加費

一般:5,000円(初回に限り一年間、本学会準会員になれる特典あり)
本学会員:0円、有効期限内の学生証を掲示いただければ無料

プログラム

受付 13:00~14:00

開会あいさつ 14:00~14:05 茂木 創 理事長

第1部:東北大学からのご発表(各 発表 25分間、質疑応答 10分間、演者交代時間込)

- 14:05 被災地における復興教育支援事業の必要性と今後の展望 ◎劉 庭秀・齋藤 優子*・範 耕杏・バートル エルデネダライ・シンジェー ポロルチメグ・王 燦堯(*のみ日本学術振興会特別研究員(東北大学))
14:40 小学校社会科における廃棄物教育の課題分析と改善方法について◎齋藤優子*・劉 庭秀・西出 直哉・李熙娥+・胡 亜楠(+のみ仙台白百合女子大学)
15:15 プラスチック製容器包装リサイクルのマテリアルフローに関する考察 ー仙台市と青森市を事例にー ◎シンジェー ポロルチメグ・齋藤 優子*・劉 庭秀

第2部:(各 発表 20分間、質疑応答 10分間、演者交代時間込)

- 15:50 『長期停滞論』について 山崎彩夏・茂木創(拓殖大学)
16:20 KAIZENと日本の途上国支援◎菊池剛(拓殖大学大学院国際協力学研究科博士)
16:50 海洋深層水の活用◎久田安夫(NPO 海ロマン理事)

第3部:(各 発表 10分間、質疑応答 5分間、演者交代時間込)

- 17:20 資産税と経済成長に関する考察◎角田晋也(当会理事・企画委員長)
17:35 イスラムについて◎木本研一(当会理事・総務委員長)

閉会あいさつ 17:50 吉野 文雄 会長(拓殖大学)

日本マクロエンジニアリング学会事務局

〒112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14 拓殖大学政経学部 茂木研究室
電話/FAX 03-3947-9204 Eメール <hmotegi@ner.takushoku-u.ac.jp>
UEL <http://www.soc.nii.ac.jp/james2/>



<沿革>

日本マクロエンジニアリング学会は、元外務大臣の大来佐武郎氏、OECD 科学技術政策委員会議長(当時)の大島恵一氏、元東京大学総長茅誠司氏、日本学術会議会長(当時)の伏見康治氏、日本学士院(当時)の和達清夫氏らの肝煎りで、1985年に創設された学術団体です。